



国際ロータリー第2840地区 第3分区

高崎南ロータリークラブ ガバナー公式訪問報告

高崎南ロータリークラブ
 会長 乾 純和
 幹事 高井 和雄

1. スケジュール

2010年11月16日(火)メトロポリタン高崎
 公式訪問例会前懇談会 11:40 ~ 12:20
 公式訪問例会 12:30 ~ 13:30
 公式訪問例会後懇談会 13:40 ~ 14:40



2. 公式訪問報告

今年の公式訪問例会は高崎南RCと高崎シンフォニーRCとの合同で行なうことになりました。11:30に福田一良ガバナーが到着し、羽鳥第3分区ガバナー補佐・高崎南RC乾会長、幹事の高井、高崎シンフォニーRC宮田会長・橋爪幹事でお出迎えをしました。2クラブ合同公式訪問例会という今までにないことなので両幹事で何度か打ち合わせを行ない、分担を決め、例会前の懇談会では進行を高崎シンフォニーRCの橋爪幹事が進行を行ない、例会では高崎南RCの幹事が担当という形式で行ないました。例会前懇談会に当クラブからは乾会長、串田エレクト、松本奉仕PJ委員長、地区管理委員会の佐藤修会員、地区補助金・奨学金年次寄付恒久基金委員会の川口修平会員が出席者しました。

例会前の懇談会ではインターアクトクラブの活動内容、当クラブがどう関わっているかを説明。またクラブ独自の奨学金について、生徒の選考方法・対象人数や金額等についてガバナーに説明をしました。

続いて例会場に福田ガバナーをお迎えして高崎南RC乾会長の点鐘で例会が始まりました。両クラブの乾・宮田両会長からガバナー公式訪問歓迎の挨拶があり、幹事より報告事項・各委員会の報告の後、福田ガバナーより講話をいただきました。

高崎シンフォニーRC宮田会長の点鐘で例会は閉会いたしました。

例会後の懇談会はSAAを含む各委員長より活動や運営について報告と共に、ガバナーへの質問と要望が発表されました。会員増強への取り組みや考え方、例会運営にあたっての苦心や工夫、行事運営や奉仕活動の工夫や方法論、ロータリークラブの社会へのプレゼンスの向上へ向けての方法論等多岐にわたる懇談がなされました。ただし、発表者が2クラブ計12名と多かつたため、ほとんどの時間が各クラブの報告に時間が割かれ、来年度は今までどおりの単独クラブのガバナー公式訪問を行なっていただけたらと思いました。





国際ロータリー第2840地区 第3分區

高崎北ロータリークラブ 高崎セントラルロータリークラブ 合同ガバナー公式訪問報告

高崎北ロータリークラブ
会長 井田 三義
幹事 宮崎 洋

高崎セントラルロータリークラブ
会長 加藤 勝二
幹事 森本 淳

11月17日、高崎ビューホテルにて福田一良ガバナー、羽鳥修司ガバナー補佐、町田庄吉地区幹事をお迎えしての事前懇談会を開催しました。

懇談会には重田元RI理事、安藤ガバナーエレクト、両クラブ会長・幹事・会長エレクト、広瀬・立見・川本の各地区役員と増村ローターアクト・ライラ委員長が参加しました。ガバナー補佐・井田会長挨拶の後、両会長より参加者の紹介、ガバナー挨拶、両会長方針説明が行なわれ、その後は打ち解けた雰囲気の中、両クラブの現況報告書を中心に懇談に移り、40分間の話し合いは加藤会長の締め挨拶で纏められました。

例会においては、ガバナースピーチを約20分間拝聴しました。レイ・クリンギンスミスRI会長の「地域を育み、大陸をつなぐ」や本年度地区重点目標などについて話されました。その後、ガバナー公式訪問両クラブ合同写真撮影が行なわれました。

ガバナー懇談会では、羽鳥ガバナー補佐に司会進行をお願いし、両クラブのSAA、会員増強委員長、奉仕プロジェクト委員長、R財団委員長、クラブ広報委員長、クラブ管理委員長よりそれぞれ方針発表があり、ガバナーの講評を頂きました。

福田ガバナーの長時間にわたる心こもったご指導に対し深く感謝いたします。また、ご随行頂きました羽鳥ガバナー補佐、町田地区幹事には大変お世話になり有難うございました。



会長挨拶
高崎北RC 井田三義会長



ガバナースピーチ
福田一良ガバナー



乾杯
高崎セントラルRC 加藤勝二会長

日時 2010年 11月 17日(水)
場所 高崎ビューホテル
公式訪問前懇談会 11:40 ~ 12:20
公式訪問例会 12:30 ~ 13:30
ガバナー懇談会 14:40 ~ 15:00



高崎北ロータリークラブ 高崎セントラルロータリークラブ 福田一良ガバナー公式訪問



国際ロータリー第2840地区 第3分区

高崎東ロータリークラブ ガバナー公式訪問報告

高崎東ロータリークラブ
 会長 塚田 且美
 幹事 佐相 正芳

2010～2011年度ガバナー公式訪問は11月18日(木)に行われました。

今回は、福田一良ガバナーの提案でなるべく前例にとらわれることなく、実情に合わせて効率よくとの考え方から、2クラブ、3クラブ合同での開催が多かったようです。当クラブは単独開催となりました。

11時30分～12時10分 クラブ役員との懇談会、12時15分 記念写真撮影、その後 例会～13時30分まで行い、終了後13時40分～14時40分 理事会出席者対象のガバナー懇親会と大変忙しいスケジュールの中、意義ある公式訪問が行われました。福田ガバナーのお話の中に、今年のRIのテーマ「地域を育み、大地をつなぐ」、レイ・クリンギンスミス会長のロータリーを改革しようとの姿勢を受けて、地区のテーマ「世の中の役に立とう」と奉仕の理想につながる表現をされています。

ロータリー全体の今後のあり方、又当クラブの活動についての分析および評価、大変率直にお話を頂きました。会員増強の件、入会に良い人を。それには意義、ボランティア、職業奉仕、おもしろい、楽しい、それを良く理解させてからの入会をしてもらう。インターアクの件、予算を使うだけではなく定期的に具体的な活動を一緒にやる。どんどん学校に向くべきだ。プロバスの件、国際交流、子どもの受入れの件。例会に花があり、会員からテープを借りて音楽、そして笑顔のあいさつ、会話と大変素晴らしいクラブと褒めて頂きました。

哲人の格言に「息をしていることが生きている証拠なのではない。社会に役立つ作業をする事が生きている人である。」地区テーマと通じるところがあると思います。

当日は町田地区幹事、羽鳥第3分区ガバナー補佐、同席していただきありがとうございました。

